

少人数指導研究 協議会の開催 (県内2か所)

小・中学校における学力の向上、基本的な生活習慣や学習習慣の形成、生徒指導面での対応等、さまざまな課題に対応するため、本県では35人学級化の推進や少人数指導の実施等により、子どもたちの状況に応じたきめ細かな指導体制の充実に努めています。

今回は、昨年末に開催した「平成22年度少人数指導研究協議会」(小学校96人・中学校91人参加)での先生方の感想等を紹介します。

少人数指導研究協議会では、ティーム・ティーチングや学級・学年を分割した指導の実践事例発表やグループ協議等を行い、効果的な少人数指導の進め方等について研修を深めました。

参加した先生方 の感想から



今までは学級を2分割した指導を行っていましたが、2学級を3分割するという指導方法の工夫を行うことで、児童生徒が学習コースを選択できる幅が広がり、児童生徒の実態により適した指導が行えることがわかりました。グループ協議で具体的な実施方法や留意点等についても聞くことができたので、さっそく実践してみようと思います。



少人数指導に効果があることは学校の教職員みんなが感じていましたが、少人数指導の成果の検証について悩んでいたのが、他の学校での取組事例がとても参考になりました。検証のための指標のひとつとして、共通テスト等だけでなく「やまぐち学習支援プログラム」の評価問題が有効なこともわかったので、ぜひ活用したいと思います。



グループ協議で実践を紹介し合う中で、本校でも試してみたいアイデアをいくつもいただくことができました。指導形態の工夫では、一斉指導とティーム・ティーチングと習熟度別指導を単元の中で組合わせて実施する方法に挑戦してみたいです。また、板書計画を使って打合せをすることで教員同士の打合せ時間を短くする方法や児童にホワイトボードを使って表現させる教具の工夫なども試してみたいと思いました。

少人数指導ガイ ドライン

各学校で効果的な少人数指導が推進されるよう、県では本年度「少人数指導ガイドライン」を作成しました。ガイドラインでは、本県の少人数教育、指導形態や指導方法の工夫、指導体制充実のためのチェックリスト等を示しており、実践事例編の追加も計画しています。各学校での積極的な活用をお願いします。

少人数指導ガイドライン



平成22年5月
山口県教育委員会

移行措置への
対応

算数・数学科における移行措置への対応を振り返ってみましょう

小学校では23年度から、中学校では24年度から新しい学習指導要領が全面実施となりますが、それに先立ち、算数・数学科では21年度から新たな内容を移行措置として指導しています。補助教材を活用するなどして指導されていると思いますが、学習指導要領の趣旨を踏まえた十分な学習活動が展開され、求められている力が子どもたちに身に付いたかなど、再度、各教科の解説等も参考にして、振り返ってみましょう。

移行措置における新規の内容

【算数】小学校学習指導要領解説 算数編 p.14～p.15 を参照

(例) 5年 量と測定領域の「ひし形、台形の面積の求め方」

図形領域の「多角形や正多角形」、「図形の合同」など

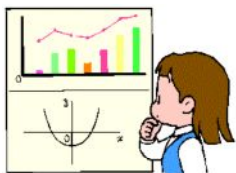
【数学】中学校学習指導要領解説 数学編 p.10～p.11 を参照

(例) 1年 図形領域の「投影図」、「球の表面積、体積」

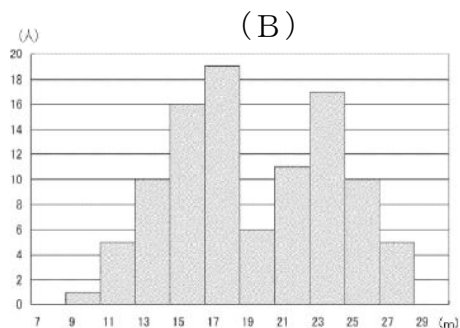
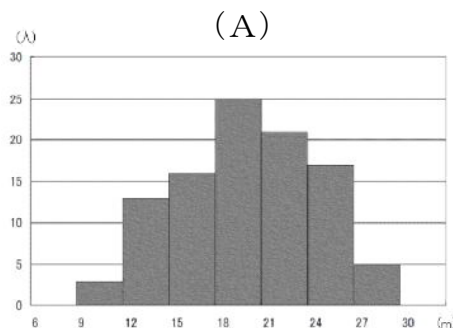
資料の活用領域の「資料の散らばりと代表値」など

学習指導要領の
趣旨を踏まえて

例えば、中学1年の新規の内容である「資料の散らばりと代表値」は、一見、前回の改訂以前に中学2年で学習していた「資料の整理」の内容が復活したかのようにも見えますが、その趣旨は、以前のよう資料の「整理」に重きを置く傾向を見直し、整理した結果を用いて考えたり判断したりすることを重視することにあります。



やまぐち学習支援プログラム評価問題を活用すると定着度を把握し、授業改善等に取り組むことができます。



(「中学校学習指導要領解説 数学編」, p.78から抜粋)

上の図は、ある中学校の男子生徒100人のハンドボール投げの記録を、ヒストグラムに表したものです。階級の幅をAのように3mとした時とBのように2mとした時とでは、同じ資料であっても、読み取ることができる内容が異なってくる場合があります。実際の指導においては、問題解決の過程を重視し、その中で資料の傾向をとらえ説明するといった活動を行うことが大切です。

学年の
まとめに
向けて

年度末を迎え、これまでの学習のまとめを行う機会に、移行措置の内容について、学習指導要領の趣旨を踏まえた学習活動が行われていたか、子どもたちに十分な力が付いているか、確認の意味で復習としてやまぐち学習支援プログラムの評価問題に取り組んでみましょう。